問　小・中学校への空調設置について
答　保護者・学校側の意見を拝聴し検討したい

板橋　英治 議員

問　教育現場において空調設置は必要では。

教育長　本来、夏は暑い、冬は寒いという事で夏季休業と冬季休業が実施されております。空調が完備されれば夏・冬休みの授業体系、また、夏・冬休みの意義を考え検討していきたい。

問　7月の両小学校では室温35度を超える教室がほとんどでした。これだけ暑いと、勉強にも集中できませんし、熱中症の危険度も高いと言えます。子どもたちの健康面を含め、学校側ではどのような熱中症対策・予防を行っているのか。

教育次長　学校においては水筒を持参させる。校内に冷水機を置く。首に巻く保冷剤を認める。エアコンの設置してある教室で交代で授業を行う。中学校では体操着登校を実施、部活動においてはこまめな水分補給や十分な休憩をとるなどの指導をしております。

問　小・中学校に空調を設置した場合の費用、ランニングコストはどれ位か。

教育次長　3校で53教室が空調未設置です。全体で7，950万円の設置費用がかかる計算です。

また、電気代等は月額18万円程度かかるということです。

問　学校保健安全法にある学校環境衛生基準において、教室の温度は10度以上30度未満が望ましいと規定されています。親からすると学校に預けながら、命の危険にさらされている現実です。今の夏の現状を考えると、設置する時期・時代かと思いますが。

町長　今後何らかの形で対策をとっていかなければならないだろうと考えておりますが、まだ保護者・学校側から要望や意見がないというお話です。今後の暑さ対策という点で保護者、学校側等の皆さんの意見を聞いた中で検討していきたい。

問　子どもたちの学習の向上、能率等もあるが、命を守るという意味を踏まえ、安心・安全に学べる環境を整えてほしいと強く要望します。

教育長　教育委員会も児童生徒の健康保持に努めていきたい。

問　給食費負担軽減について
答　議論し検討したい

問　現在、給食費を負担軽減している自治体も増えてきていますが、町が第2子を半額、第3子を無償とした場合の町の負担はどれ位か。

教育次長　小学校に通学する兄弟・姉妹を調べ試算した結果、141世帯302名が該当し、年間の町負担額は約380万円ほどになります。また、中学校に通学する兄弟・姉妹も含めるともっと増える予想になります。

問　給食費の第2子以降の負担軽減は、少子化対策・子育て支援から見ても、非常に魅力的ではないか。

町長　町としても、少子化対策を進めており、給食費の問題もその一環に入ると思いますが、しっかりとした計画をもって進めなければなりません。町はいろいろな事業で適正に予算を配分し進めています。町全体の住民の幸福度というものを考えると、給食の負担、負担軽減という面につきましても、給食費の未納の問題もあり、生活困窮という事情であればそれなりの支援も考えますが、そうでない部分というのが非常に見受けられることから、それらについても含めて今後、議論していく中で検討していきたい。

その他の質問

・土曜日の開校について

・給食費未納対策について